

関係各位

第40回全情連大会「AN I A青森大会」終了報告と御礼

謹啓 秋冷の候 益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当協会の事業について格別のご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

多くの皆様のご協力によりまして第40回全情連大会「AN I A青森大会」は、お蔭様にて盛会のうちに無事終了することができました。

ご多忙中にもかかわらずご参加いただきました皆様、そして大会の運営・実施のために、これまで多大なるご支援とご協力をいただきました全ての関係者各位に感謝と御礼を申し上げます。

今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもってご挨拶にかえさせていただきます。

敬白

平成30年9月29日

一般社団法人青森県情報サービス産業協会

会 長 若井 敬一郎

AN I A青森大会組織委員会

委員長 長内 睦郎

# 第40回全情連大会「ANIA青森大会」 1

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会（ANIA）と一般社団法人青森県情報サービス産業協会（AISA）は、9月27日～28日の2日間、青森市で「北前船が運んだ情報ネットワーク！～地域から変わるICTの未来～」をテーマに第40回全情連大会「ANIA青森大会」を開催しました。青森では第22回（2000年開催）以来、18年ぶり2回目の開催となりました。

日 時：平成30年9月27日(木)～9月28日(金)

会 場：ホテル青森 3階 孔雀の間（青森市堤町1-1-23 TEL 017-775-4141）

趣 旨：本大会は、青森県はじめ全国の情報産業の会員企業等が一堂に会し、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことにより、本県情報産業や地域の活性化に資することを目的として開催。

主 催：一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会（ANIA）

一般社団法人 青森県情報サービス産業協会（AISA）

共 催：公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会青森支部、東北情報通信懇談会

後 援：経済産業省、総務省、東北経済産業局、東北総合通信局、青森県、青森市、青森県商工会議所連合会

9月27日(木)

(1)13:30～14:50 ANIA青森大会・式典

長内大会組織委員長の開会宣言の後、開催地を代表し、AISA若井会長が「青森へようこそ。時代が変わっても、情報だけでなく人がいて、モノが流通し、生活スタイルまで変えていくネットワークの役割は昔も今も変わらない。ICTには地域社会や文化を創造的に進化させていく大きな可能性を秘めている。ICTの最新の知見を提供することで地域の課題を解決していきたい」と挨拶した。

次にANIA長谷川会長が「全国各地で起きている自然災害を克服するためにもICTを利活用したい」と挨拶した。

続いて、来賓の青森県知事 三村申吾様が「情報通信産業に携わる皆さんが知恵を出し合い、イノベーション日本をつくり上げる原動力になってほしい」と挨拶、経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 大崎美洋様、総務省 東北総合通信局 情報通信部長 鈴木厚志様からご祝辞を頂きました。

続いて、ANIA大会表彰を行い、優秀役職員表彰（長野県情報サービス振興協会 第4代会長 若林邦彦様）が贈呈され、記念写真を撮り式典は終了いたしました。



AISA若井会長 挨拶



ANIA長谷川会長 挨拶



長内大会組織委員長 開会宣言



大会会場



来賓・表彰者記念写真

(2) 15:00～16:15 基調講演 I

北前船が運んだ情報ネットワーク！

神奈川大学 外国語学部国際文化交流学科  
特任教授 昆 政明 氏

昆教授は十和田市生まれ。みちのく北方漁船博物館の設立運営に携わり、同館が復元した「みちのく丸」の帆走実験に協力した。民俗・民具学及び船舶史研究が専門な昆教授は、北前船の成り立ちや経営、使用された船の構造、航海法に触れながら、「利益の源は、遠隔地の相場を的確に捉える情報にあった」と話し、「京都の祇園祭は北前船によって日本海北部沿岸に伝播し、青森ねぶた祭にも影響を与えたと述べた。



基調講演 I

# 第40回全情連大会「ANIA青森大会」 2

## (3) 16:30 ~ 17:45 基調講演Ⅱ

最先端技術(AI)で健康の未来を予測する  
-超多項目(2000)健康ビッグデータから見える真の健康の姿-

弘前大学 COI 研究推進機構  
教授 村下 公一 氏

住民の健診から得られるビッグデータを活用して「健康長寿社会」の実現を目指す取組について説明、最新の研究成果や社会実験トピックスを交えながら、壮大な弘前COIプロジェクトの全体像を紹介した。



基調講演Ⅱ

## (4) 12:30 ~ 20:00 機器展示コーナー

会場には、GPSや各種センサーを活用した移動体管理システムや救急外来情報システムなどをPRするコーナー等を設け、来場者から関心が注がれていました。

出展企業 4社  
マルマンコンピュータサービス(株)・(株)サン・コンピュータ  
(株)フォルデ・(株)アイティコワーク



機器展示

## (5) 18:30 ~ 20:30 懇親会

懇親会は津軽者三味線のウェルカム演奏で始まり、AISA若井会長から歓迎の挨拶、青森市長の小野寺晃彦様から来賓のご挨拶をいただきました。続いて、経済産業省 東北経済産業局 地域経済部情報政策推進室長 村田久明様の乾杯で和やかに懇親会が行われました。会場は、たくさんの関係者であふれ、歓会による津軽三味線、日立連合凱立会のねぶた囃子などアトラクションが華やかな雰囲気盛り上げました。また、次回開催地である札幌市の紹介があり、AISA若井会長からHISA中村会長へ大会旗が引き継がれました。中締め挨拶は、長内大会組織委員長が行い懇親会は終了しました。



懇親会



アトラクション



大会旗引継ぎ

9月28日(金)

## (1) エクスカーション

2日目の9月28日はエクスカーションが行われました。ゴルフコースは青森カントリークラブで行われ、緩やかなアップダウンの丘陵コースを楽しんでプレーに興じていました。

観光では、県内2コースを巡り、青森県の歴史、自然、文化に触れ楽しいひと時を過ごしました。三内丸山遺跡と津軽半島周遊コースでは、竜飛岬からの景観を楽しみ、日本最大級の縄文集落跡の三内丸山遺跡を訪れ、いにしへの時代にタイムスリップしていました。

また、太宰治ゆかりの町コースでは、金木町の斜陽館や三味線会館を見学。その後、五所川原の立佞武多の館を見学し、楽しいひと時を過ごし帰路につきました。



ゴルフコンペ集合写真

Aコース 三内丸山遺跡と津軽半島周遊コース  
Bコース 太宰治ゆかりの町 金木・五所川原と鶴の舞橋  
をめぐる津軽コース  
ゴルフコース 青森カントリークラブ